

各議員はそれぞれの学校の代表として、下諏訪町の「まちづくり」について様々な意見や質問をぶつけてくれました

しもすわ未来議会(一般質問 要旨)

明日を担う
若い世代の声!

議席8番 田中 琴美 議員
～高齢者への福祉について～

田中議員 高齢者福祉の充実のため、環境施設の充実や介護士の補充等の体制を整えていく必要があると述べ、下諏訪町の取組について質問しました。また、若い世代の人が介護の仕事に定着できるように、補助金や職場体験の制度を設けることはできないかと質問しました。

町長 諏訪広域連合で運用されている介護保険について説明しました。この介護保険のより一層の充実とともに下諏訪町として特色のある高齢者福祉を関係機関と協力して考えていくことも重要だと述べました。また、補助金については国で定めている介護報酬があるのでなかなか難しいが、職場体験については、ハイム天白で可能だと思うので学校とも相談して検討したいと答弁しました。



議席6番 本多 桜 議員
～子供とお年寄りについて～

本多議員 保育園児とお年寄りの交流の機会を増やすことを提案しました。特に老人ホームなど利用していない方について注目し、「ぼけっと」についても町内を回る無料の車を出してはどうかと提案しました。

町長 いろいろな機会を捉えて交流の場を増やしていくことは大切だと述べました。ただ、行政だけでなく、地域の行事などもそういった機会として欲しい、保育園だけでなく、小学生・中学生と高齢者の関わりを作っていくことも必要だと答弁しました。また、「ぼけっと」は、現在も多くの方に利用いただいているが、今後あざみ号・福祉タクシー等充実のための検討に併せ、今回の意見も踏まえて検討していきたいと述べました。



議席3番 宮坂 彩歩 議員
～町のエネルギー問題について～

宮坂議員 下諏訪町ではエネルギー問題についてどのように考えているかを質問しました。また、新エネルギーの導入について、町として具体的にどのように進めていく計画があるのかを質問しました。

町長 平成18年度に策定した地域新エネルギービジョンについて説明し、自然エネルギーを導入しながらまちづくりを進めていきたいと説明しました。また、行政だけでなく地域の皆さんに率先して新エネルギーを導入していただくことも重要であるため、補助制度をより一層充実していきたいと述べ、そういった施策を一層進めながら、省エネルギー、自然エネルギーへの取り組みを進めていきたいと答弁しました。



議席1番 今井 稀実子 議員
～保育園跡地について～

今井議員 昨年度から3園体制になった保育園について、現在使われていない園舎の跡地利用について質問しました。また、跡地利用では、高齢者との交流の施設や子どもの体力向上のため体を動かす場としたらどうかと提案しました。

町長 現在使われていない園舎の中では、第八保育園が比較的新しいので、地域の皆さんの声を聞きながら、現状のまま有効活用していきたいと答弁しました。高齢者とのふれあいの場は、現在も「ぼけっと」で行われており、大切な発想であると述べ、運動スペースについても、現在の状況を説明しながら、一つの検討課題として参考にさせていただきたいと答弁しました。



議席9番 宮下 海都 議員
～町内の緑化について～

宮下議員 学校の生徒会活動で実施している「ヤシロガーデンプロジェクト」を「シモスワガーデンプロジェクト」という町全体の活動として、町内に花を増やすことを提案しました。また、秋宮の前を花参道にする等の具体案も提示し、町としての体制づくりを要望しました。

町長 日頃の活動を全町に広げたいという思いに感謝し、現在町で行っている活動について説明をしました。花参道等の具体的に提案のあったものについては、可能かどうか研究し、検討してみたいと答弁しました。また、花の運搬・水やり等全てを行政でフォローすることは難しいので、良い仕組みを作っていく、地域の皆さんに協力してもらえようという形が作れば良いと思っていますと述べました。



議席7番 伊藤 真臣 議員
～環境に良いまちづくりについて～

伊藤議員 環境問題や災害時の電力供給について触れ、ソーラー照明灯の設置を提案しました。特に通学路など町なかへの設置を要望しました。また、余った電力は町なかのイルミネーションに利用してはどうかと、ソーラー灯等を環境づくりに取り入れていくことを提案しました。

町長 町なかへの設置には難しい課題もあるが、ソーラー発電とまではいなくてもLED電球に換えるだけで消費電力には大きな違いがあるので、補助金制度を活用し、地域の皆さんにもお願いして換えてきていけると説明しました。環境づくりへの視点については、特に万治の石仏など電気が通っていない箇所については有効だと思われるので、そういった部分では検討していきたいと答弁しました。



議席4番 小林 雅人 議員
～町の新たな公園計画について～

小林議員 赤砂崎の公園計画について、今後どのように計画が進んでいくのか質問しました。また、町のホームページに公園づくりの進捗状況を掲載することや、意見の書き込みができるようにしてはどうかと提案しました。

町長 赤砂崎は防災公園としての位置づけをして、自然環境を生かしながら、多くの方々に利用していただける公園にしていきたいという考えを述べました。本年度事業としては、ジョギングロードの整備・ヘリポートの整備を計画しており、その後についてもブロックを決めて順次整備を進めていきたいと答弁しました。また、広く町民の皆さんの意見を聞きながら形を作っていくといいとし、議員の意見も尊重し検討させていただきたいと述べました。



議席2番 中山 楓太 議員
～若者の健康について～

中山議員 高校生のカルシウム不足を指摘し、その問題を解決する策として「ウナギの骨」を使った新商品の開発を提案しました。また、18歳以下の若者を対象に商品のアイデアを募集することも提案しました。

町長 その商品が手軽に提供できる形であれば、課題となっているカルシウム不足も解消できるのではないかと述べました。ただ、最近ではウナギの骨をどう確保していくかの課題もあり、商店の皆さんと協議してみたいと答弁しました。また、本年度から、町の特産品を作っていくと協議を始めました。若い世代の皆さんにも加わっていただき発想力を提供していただくことは重要なので、学校とも協議して検討したいと述べました。



議席5番 花岡 真衣 議員
～下諏訪活性化について～

花岡議員 下諏訪町には高校生が気軽に集まれる場所が少ないと指摘し、「下諏訪まちづくり協働サポートセンター」を、高校生の勉強や趣味など多様に使用できるように規定を変えることができないかと質問しました。また、他に利用できる場所はないかと質問しました。

町長 協働サポートセンターについて説明し、高校生がフリーに使うのは現状では難しいが、ルールを守って利用していただく、そのもとで利用することは可能ではないかと述べました。また、以前の「向陽テラス」を例にあげ、地域の方の協力をいただけて、空き店舗等の活用・管理等が高校生自身で自主的にできるのであれば、町としても検討していきたいと答弁しました。




今日の想いを忘れずに

議員の皆さん、貴重なご意見をありがとうございました。皆さんが緊張の中にも堂々と意見を発表してくる姿を頼もしく見させていただきました。

この町を、皆さんは真剣に考え、今日臨んでくれた、このことが私は本当にうれしく思います。この気持ちをしっかりと、ずっと持ち続けてもらいたいと思います。

議員だけでなく、今日傍聴された皆さん、本当にありがとうございました。

今後、皆さんが成長していく中で、この町を真剣に良い町にしようと、そんな姿勢を持ち続けてくれれば、こんなにうれしいことはありません。これからもっともっとすばらしい大人に成長してくれることを願います。今日のお礼とさせていただきます。

(町長の講評より)



質問と答弁の全容については、町のホームページで「しもすわ未来議会会議録」を掲載します。